

特別企画

ラ テ ン ス ム ー ビ ー

in
福岡

福岡市総合図書館映像ホール

シネマ

Fukuoka City Public Library Movie Hall

Ciné-là

シネマ・ニュース
December 2002 No.77

『地下の民』イラスト：花野孝史

特 集

アジアの ラブストーリー

12

フィルム・ビー in 福岡

第Ⅰ部「アンデス先住民の映画史ーウカマウ集団特集」

第Ⅱ部「ラテン音楽の映像世界ー中南米音楽映画特集」

会 期：4日(水)～15日(日) ※休館日・休映日を除く

観覧料：600円(大人) 500円(大学生・高校生) 400円(中学生・小学生)

※定員制・各回入れ替え制

※チケットはすべて当日券。前売り券はありません。

※福岡市在住の障害者の方、及び福岡市在住の65才以上の方は300円。(手帳の提示が必要です。)

主催：福岡市総合図書館

協力：シネマテーク・インディアス/スタンス・カンパニー/現代企画室/ムヴィオラ/ティエンポ・イペロアメリカノ(福岡)

中南米各国における映画製作は、1959年のキューバ革命の影響下で活気づいた。その代表的な存在が、ホルヘ・サンヒネス監督を中心とする「ウカマウ集団」である。彼らはつねにアンデス先住民を主題とし、彼らとともに、彼らのための映画を撮りつづけている。海外の映画祭から高い評価を得ながらも欧米に進出することなく、ボリビアでの過酷な映画製作の道を選んだ彼らの試みは、映画史においても重要な位置を占めていると言える。

第Ⅰ部ウカマウ集団作品のアンデス音楽の素朴な響きから一転し、第Ⅱ部の音楽映画特集はサンバやサルサ、レゲエといった開放的なリズムに満ちている。また、新旧の「オルフェ」を見比べるのも興味深いだろう。音楽ほど中南米文化の多様性を表現しているものはない。今回の企画ではその全てを網羅したとは言えないが、多様な魅力の一端でも体験していただければ幸いである。

特別対談 7日(土) 14:00～15:30

国家の中の
もうひとつの「声」
先住民の世界観に触れて

津島佑子(つしま ゆうこ)【作家】

1947年、東京都三鷹市に生まれる。作品に「謝肉祭」、「龍児」、「草の臥所」(泉鏡花賞受賞)、「山を走る女」、「夜の光に追われて」(読売文学賞受賞)など。最近作の「笑いオオカミ」も大仏次郎賞を受賞している。著者自らが語るように、父方の家系が津軽出身だったためにアイヌ文化に親しみを感じ、アイヌ叙事詩「ユーカラ」のフランス語版の翻訳・出版に参画した。近年はメキシコ・中国・インドなどへの旅行を通して、先住民族の歴史と文化への関心を深めており、その思いの一端はエッセイ集「アニの夢 私のイノチ」(講談社)に詳しい。

太田昌国(おおた まさくに)【シネマテーク・インディアス代表】

1943年北海道生まれ。南米を放浪していた1975年にウカマウ集団の作品と出会い、強い衝撃を受ける。以降20年以上にわたり、ウカマウ集団の全作品を自主上映し、近年は共同製作にも携わる。現在は東京の出版社「現代企画室」の編集長。南北問題・民族問題・日本の社会状況を論じた著書多数。

※特別対談は有料制で、料金は当日の「鳥の歌」の観覧料に含まれます。対談だけの入場でも同じ料金です。

12 14 黒いオルフェ

【木】【土】 14:00 16:00 Orfeu Negro

'59年カンヌ映画祭グランプリ、'60年アカデミー外国語映画賞の二冠に輝く映画史上の名作。世界的に大ヒットした主題歌「オルフェの歌」や「フェリシターチ」を背景に、ギリシャ神話で名高いオルフェとユーリエスの愛の物語を、現代のリオによみがえらせる。

1959年/35ミリ/カラー/107分/フランス

監督/マルセル・カミュ 日本語字幕付き

音楽/アントニオ・カルロス・ジョビン/ルイス・ボンファ



13 14 オルフェ

【金】【土】 14:00 13:30 Orfeu

「黒いオルフェ」から40年。同じ原作の世界を今度はブラジル人監督がリメイク。三日間にわたるリオのカニバルの狂騒のなかで語られる古典的口マンズ。圧倒的なエネルギーと高揚する祝祭感、躍動的なサンバのリズム...

1999年/35ミリ/カラー/110分/ブラジル

監督/カルロス・ヂエギス 日本語字幕付き

音楽/カエターノ・ヴェローゾ



ウカマウ「革命」「落盤」

Ukamau

4 6
【水】【金】
14:00 19:00

'66年のカンヌ映画祭で青年監督賞を受賞した、南米映画界の記念碑的作品。先住民の農民が、メスティソ(混血)の仲買人に殺された妻の復讐を果たす物語。'64年ライブチ映画祭ヨリス・イヴェンス賞の「革命」、「65年作品「落盤」の2短編を併映。

1966年/16ミリ/モノクロ/75分/ボリビア

日本語字幕付き

監督/ホルヘ・サンヒネス

脚本/オスカル・ソリア、ホルヘ・サンヒネス



人民の勇氣

El Coraje del Pueblo

4 6
【水】【金】
19:00 14:00

1967年6月24日。カトリックの聖ヨハネ祭の夜、政府軍は鉱山居住区を襲撃し、ゲバラ指揮下のゲリラを支援しようと準備していた住民多数を殺害した。その歴史的事実を、難を逃れた当事者たち自身によって再構成した作品。'71年ベルリン映画祭OCIC賞、ベサロ映画祭最優秀映画賞を受賞。

1971年/16ミリ/モノクロ/93分/ボリビア=イタリア

日本語字幕付き

監督/ホルヘ・サンヒネス

脚本/ウカマウ集団と出演者たち



ここから出ていけ!

Fuera de Aquí!

5 8
【木】【日】
16:30 16:00

北米から来た宣教師によって広められた個人主義は、先住民の共同体に亀裂を生じさせていた。村は内部分裂に追い込まれ、ついには多国籍企業に土地を奪われてしまう。村人たちは土地の奪還へと再び立ち上がる。'77年カンヌ映画祭監督週間正式出品。

1977年/16ミリ/モノクロ/102分/ボリビア=エクアドル=ベネズエラ

監督/ホルヘ・サンヒネス 日本語字幕付き

脚本/ウカマウ集団と出演者たち



鳥の歌

Para Recibir el Canto de los Pájaros

6 7
【金】【土】
16:30 15:40

16世紀スペインによる「征服」という歴史を、批判的に捉えるために映画製作へと乗り出す集団。先住民の村に到着した彼らは、村人たちの思いもよらぬ軌跡に戸惑うことになる。村人たちは彼らに「出て行け!」と言うのだった...。'95年ロカル/映画祭「質と刷新」賞。

1995年/35ミリ/カラー/100分/ボリビア=ドイツ=日本

日本語字幕付き

監督、脚本/ホルヘ・サンヒネス

音楽/セルヒオ・ブルデンシオ



12 14 カルメン・ミランダ

【木】【土】 16:30 11:00

Carmen Miranda: Bananas is My Business

「ブラジルの歌姫」としてハリウッドに進出、多くのミュージカル映画に出演し、一世を風靡したカルメン・ミランダ。本作は、幼い頃から彼女にひかれていたブラジル人女性監督によるミランダの一代記。彼女の軌跡を、残された映像やインタビューで追う。

1994年/35ミリ/カラー/92分/ブラジル=アメリカ/ドキュメンタリー

監督/脚本/ヘレナ・ソルバーク 日本語字幕付き

音楽/レオ・ガンデルマン



11 15 キューバ・フェリス

【水】【日】 19:00 11:00 Cuba Feliz

ある孤高の老ミュージシャンの姿を通してキューバ音楽のルーツを探るロード・ムービー。76歳のエル・ガジヨは、首都ハバナで活動するストリート・ミュージシャン。今日も町の片隅で、一杯の酒と引き換えに自慢の歌を披露している。相棒は一本のギターだ。

2000年/35ミリ/カラー/97分/キューバ=フランス/ドキュメンタリー

監督・脚本・撮影/カリム・ドリディ 日本語字幕付き

音楽/ミシェル・ブレセ



アジアの ラブストーリー

クリスマス企画として、図書館収蔵作品から
ロマンチックなラブストーリーのコレクションを上映

会 期：18日(水)～23日(月・祝)

観覧料：500円(大人) 400円(大学生・高校生)
300円(中学生・小学生)

※定員制・各回入れ替え制

※チケットはすべて当日券。前売り券はありません。

※福岡市在住の障害者の方は無料、福岡市在住の65才以上の方は半額。(手帳の提示が必要です。)

コンドルの血

Sangre de Condor

4 8
【水】【日】
16:30 11:00

'70年の仏ジョルジュ・サドゥール賞を受賞し、ゴダール監督からも絶賛された傑作。アンデスの寒村に「平和部隊」を名乗る北米人たちがやってくる。彼らは婦人科の治療と称し、先住民女性たちに対し不妊化手術を施していたのだ。激憤した村人たちは...

1969年/16ミリ/モノクロ/70分/ボリビア
日本語字幕付き

監督/ホルヘ・サンヒネス
脚本/オスカル・ソリア、ホルヘ・サンヒネス

第一の敵

El Enemigo Principal

5 8
【木】【日】
14:00 13:30

盗まれた牛の返還を要求した先住民の農民が、農村主に首をはねられてしまう。憤怒した農民たちは、農村主を捕らえ裁判に突き出す。反対に投獄されてしまった。農民たちはゲリラ部隊と共同闘争を展開するのだが...

1974年/16ミリ/モノクロ/98分/ボリビア=ペルー
日本語字幕付き

監督/ホルヘ・サンヒネス
脚本/ウカマウ集団と出演者たち

地下の民

La Nación Clandestina

5 7
【木】【土】
19:00 11:00

アンデス先住民のアイデンティティーの喪失と再生を、その神話的世界や宇宙観とともに大きなスケールで描いたウカマウ集団の代表作。かつて村を追放された青年が、死を覚悟しつつ、生まれ故郷へと帰って行く。'89年サンセバスチャン映画祭グランプリ。

1989年/35ミリ/カラー/125分/ボリビア=イギリス=スペイン=ドイツ=日本

監督、脚本/ホルヘ・サンヒネス
音楽/セルヒオ・ブルデンシオ

11 13 サルサ!

【水】【金】
16:30 19:00

Salsa!

ラテン音楽「サルサ」に魅了された若き天才ピアニスト「レミ」。全てを投げ出してサルサの世界に飛び込むが、白人である彼は相手にされない。そこでレミは髪の色と肌の色を変え、「モンゴ」と名乗り、身も心もキューバ人になろうとするが...

2000年/35ミリ/カラー/100分/フランス

監督/ジョイス・シャルマン・ブニュエル 日本語字幕付き
音楽/グルーボ・シエラ・マエストロ、ジャン・マリ・セニア

11 12 15 ロッカーズ

【水】【木】【日】
14:00 19:00 13:30

ROCKERS

グレゴリー・アイザックス等、ジャマイカのレゲエ・ミュージシャンが多数出演するカルトムービー。ジャマイカNo1のドラマー「ロリー」は苦勞して買ったバイクを盗まれ激怒。そこで仲間を集めて盗った人々への仕返しをたくらむが...

1978年/35ミリ/カラー/99分/アメリカ

監督/テオドラス・パファロックス 日本語字幕付き
音楽/ピーター・トッシュ、パニー・ウエイラー

13 15 ボブ・マーリー

【金】【日】
16:30 16:00

伝説のパフォーマンス

アップライジング・ツアー1980 in ドルトムント
BOB MARLEY AND THE WAILERS

伝説のレゲエ・ヒーロー、ボブ・マーリー。彼が生前最後に行った欧州ツアー中、最も充実したパフォーマンスと言われているドルトムントでの貴重なライブ映像を中心に構成された、ファン感涙の作品。彼の国葬の様子もインサートされている。

1998年/35ミリ/カラー/84分/ドイツ/ドキュメンタリー
監督/ステファン・ポール 日本語字幕付き

出演/ボブ・マーリー、ジュニア・マーヴィン、アル・アンダーソン

運転手の恋

The Cabbie



日本語・
英語字幕付き

監督/チャン・ホアクン、チェン・イーウェン
出演/チュウ・チョンハン 宮沢りえ

あなたに夢中で

Loving Someone



日本語・
英語字幕付き

監督/ホセ・ハヴィエル・レイエス
出演/アイコ・メレンデス アガム・ラック

ロージャー

Roja



日本語字幕付き

監督/マニラトナム
出演/マドゥパーラー アラヴィンダスワミ

田舎町の春

Spring in a Country Town



日本語字幕付き

監督/フェイ・ムー
出演/ウェイ・ウェイ ツィ・チャオミン

つきせぬ想い

C'est la Vie, Mon Chéri



日本語・
英語字幕付き

監督/イー・トンシン
出演/アニタ・ユン ラウ・シンワン

三人姉妹

Tiga Dara



日本語字幕付き

監督/ウスマル・イスマイル
出演/チトラ・デウィ ミカ・ウィジャヤ

18日(水) 14:00/23日(月・祝) 15:00
アチュアンはタクシードライバーで、恋愛より車の運転が好きだという男だった。ところがある日アチュアンは、交通違反の取り締まりをしている婦人警官のジンウェンに一目惚れをしてしまう。以来アチュアンは、彼女の気を引くため、わざと彼女の目の前で交通違反を繰り返す。婦人警官役を宮沢りえが演じる、ラブコメディである。

2000年/35ミリ/カラー/94分/台湾

18日(水) 19:00/21日(土) 11:00
裕福で女ばかりの家庭に育った青年・カリトスは真面目で神経質な性格。一方カリトスの憧れる活潑な女性のモニカは、貧しくて家庭は男ばかりだった。日本人の母を持つ人気女優アイコ・メレンデスが主演するラブ・コメディで、二人のぎくしゃくした恋愛関係は共感を呼ぶ。

1993年/35ミリ/カラー/116分/フィリピン

19日(木) 14:00/21日(土) 15:00
北インドのカシミール地方を舞台に、ゲリラに誘拐されたリシと、夫・リシの解放を訴える妻・ロージャーの愛を描いた物語。カシミールの美しい自然を生かしたロケーション、ダイナミックな歌と踊り、社会的メッセージを含んだ物語が評判となり、インド各地で大ヒットとなり、監督の名前を一躍高めた作品。

1992年/35ミリ/カラー/140分/インド

19日(木) 19:00/22日(日) 11:00
田舎町の夫婦と夫の友人との三角関係の物語であるが、登場人物の内面に描写の中心が置かれており、大人の恋愛ドラマとなっている。戦争終了時から中華人民共和国が成立するまでの短い期間には、優れた中国映画が多数製作されているが、本作はこの時期を代表する傑作として高く評価されている。

1948年/35ミリ/モノクロ/97分/中国

20日(金) 14:00/22日(日) 15:00
売れないサクソ奏者のキットと、街頭芸人の娘のミンの心温まる純愛映画の傑作。香港では大ヒットを記録し、香港アカデミー賞の主要部門を独占している。不治の病に冒されながらも明るさと元気を失わない、少女ミンを演じるアニタ・ユンが素晴らしい。またミンは返還を前にした香港のメタファーであるとも言える。

1993年/35ミリ/カラー/99分/香港

20日(金) 19:00/23日(月・祝) 11:00
母親を早くになくし、父と祖母の手で育てられたヌン、ナナ、ネニーという三人姉妹の物語。みんなの母親代わりで控えめな長女のヌンを結婚させよう、家族のみんなが作戦を練るという内容のミュージカル・コメディ。インドネシア映画の父と呼ばれるウスマル・イスマイル監督の50年代の代表作。

1956年/35ミリ/モノクロ/114分/インドネシア

ゴジラは不滅である！

ゴジラ映画の存在は計り知れない。現役の映画シリーズとしては最長であるゴジラシリーズは、一億人近い劇場動員数を記録し、日本はもちろん世界中でも人気がある。10月24日の時点でアメリカでは40万、オーストラリア・ニュージーランドでも40万、また英国・アイルランドでは何と47万のゴジラ関連ホームページがあり、この数は上がる一方だ。また、「Kaiju」をインターネットで検索しても数多くのホームページが見つかる。

ゴジラファンを自認する私だが、皮肉にも私の映画との出会いはゴジラではなかった。ただ大学時代にゴジラ映画を深夜テレビでよく観たことを覚えている。非現実的な設定だと分かっているにもかかわらず最後まで観てしまっていた。無意識にゴジラに引かれていたのだろう。真のゴジラファンになったのは最近になってからである。7、8年前のWOWOWのゴジラ特集を全てビデオに録画したことを覚えている。後にどれほどゴジラ映画が作られていたか、またゴジラに関する出版物の数に驚いた。それからゴジラ映画を一本一本丹念にビデオや映画館で観て、出版物も読み始めた。

ゴジラ映画を一度娯楽映画として見て、それから再び同じ映画を見ると非常に面白い。娯楽的なコメディータッチも見られるが、真摯な社会的メッセージも伝わってくる。核やバイオテクノロジー（生物に

ゴジラ映画最新作
「ゴジラ×メカゴジラ」

おける遺伝子の組み替えなどを扱う科学の恐ろしさ、環境問題等。そして半世紀近くシリーズ化されていることから日本の生活環境の変化なども顕著に描かれている。日本を知るのに非常に勉強になるシリーズである。

しかし、細かい事は抜きにして、ゴジラ映画は説明を超えた魅力を持っている。人類はもちろん、他の怪獣でもエイリアンでもゴジラにはかなわない。この圧倒されるパワーがストレス解消になるとさえ言われている。そして何と言ってもゴジラ映画は日本製にかざる。これは私だけの意見ではなくハリウッド版「ゴジラ」が封切られた際に米国のゴジラファンの多くが感じ取ったことだ。ハリウッド版「ゴジラ」を素晴らしい特撮娯楽映画とは認めるものの、登場する怪獣を数十年間見慣れた「ゴジラ」とは認知してはいない。

少し気が早いですが、2004年は「ゴジラ」誕生50周年にあたる。この期をもってこれまでのゴジラ映画を振り返るのも良いことかもしれない。そして、世界何億と言われているゴジラファンを代表して、東宝に「ゴジラ映画を永久に作り続けて」と、切に願いたい。

映像調査専門員 デビッド・キャリシャー



12月

上映スケジュール

1 日 休 映 日
2 月 休 館 日
3 火 休 映 日

ラテンムービー in 福岡

4 水	14:00 革命/落盤/ウカマウ	16:30 コンドルの血	19:00 人民の勇気
5 木	14:00 第一の敵	16:30 ここから出ていけ	19:00 地下の民
6 金	14:00 人民の勇気	16:30 鳥の歌	19:00 革命/落盤/ウカマウ
7 土	11:00 地下の民	14:00 対談	15:40 鳥の歌
8 日	11:00 コンドルの血	13:30 第一の敵	16:00 ここから出ていけ!
9 月	休 館 日		
10 火	休 映 日		
11 水	14:00 ロツカーズ	16:30 サルサ!	19:00 キューバ・フェリス
12 木	14:00 黒いオルフェ	16:30 カマン・ミランダがけが	19:00 ロツカーズ
13 金	14:00 オルフェ	16:30 ポップ・マーリィ	19:00 サルサ!
14 土	11:00 カマン・ミランダがけが	13:30 オルフェ	16:00 黒いオルフェ
15 日	11:00 キューバ・フェリス	13:30 ロツカーズ	16:00 ポップ・マーリィ

16 月 休 館 日
17 火 休 映 日

アジアのラプストリー

18 水	14:00 運転手の恋	19:00 あなたに夢中で
19 木	14:00 ロージャー	19:00 田舎町の春
20 金	14:00 つきせぬ想い	19:00 三人姉妹
21 土	11:00 あなたに夢中で	15:00 ロージャー
22 日	11:00 田舎町の春	15:00 つきせぬ想い
23 月・祝	11:00 三人姉妹	15:00 運転手の恋

24 火 休 館 日
25 水 休 映 日
27 金
28 水
1/4 金 年末年始の休館日

インフォメーション



シネラニュース送付のご案内

定期購読ご希望の方に毎月シネラNEWSをお届けしております。購読を希望される方は、平成15年1月号～平成15年3月号までの郵便切手(90円×3ヵ月)を同封の上、下記宛先へお申し込みください。
宛先: 〒814-0001 福岡市早良区百道浜3-7-1 福岡市総合図書館 映像資料課



ビデオ編集技術研修室のご案内

ビデオ研修室では、家庭で撮影されたビデオ(Hi8・DV)や各行事の記録ビデオの編集などに利用できます。(使用料1時間500円、連続使用はアナログ3時間迄、ノンリニア4時間迄)
※詳しくは福岡市総合図書館映像資料課まで



映像ホール利用申し込みについて

映像ホール・シネラで自主上映(非営利に限る)を希望される方は、下記のとおり利用申込みの受付を行いますのでお申し込みください。

○利用申込対象期間

平成15年6月から同年11月分まで
※別途配布の申込用紙に対象日を掲載しています。

○申込受付期間

平成14年12月1日(日)～12月12日(木)必着
※休館日を除く

○抽選日

平成14年12月15日(日)午前11時より

○抽選会場

福岡市総合図書館・3階第2会議室

○利用申込用紙

福岡市総合図書館で配布中の申込用紙をお出し下さい。

お問い合わせ

福岡市総合図書館映像資料課(事業係)
〒814-0001 福岡市早良区百道浜3丁目7番1号
TEL 092-852-0608



交通アクセス: 当館の駐車場スペースに限りがありますので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。
地下鉄: 西新駅または藤崎駅から徒歩15分
西鉄バス: 天神～都市高速経由～福岡タワー南口 (所要時間 昼間で約20分)
博多駅～都市高速経由～福岡タワー南口 (所要時間 昼間で約25分)
福岡タワー南口バス停から徒歩3分
いずれも、昼間は10～15分間隔で運行されていますので大変便利です。
お近くのバス停からのご利用につきましては、西日本鉄道テレホンセンター(電話 733-3333)に直接お問い合わせください



編集雑誌

2002年もいろいろなことがありました。アジアで初めて開催されたW杯サッカーは韓国と日本の活躍で盛り上がり、決勝戦はブラジルとドイツの戦いとなりました。
今年最後のシネラは、優勝した南米のブラジルに因んでというわけではないのですが、「ラテンムービー」特集をお届けします(振り返ると、今年の6月にはドイツのグィム・ヴェンターズの特集をしていました)。アジアのラプストリー特集とあわせてお楽しみください。(M.Y.)

Fukuoka City Public Library Movie Hall Ciné-là

福岡市総合図書館映像ホール・シネラ

〒814-0001 福岡市早良区百道浜3丁目7番1号

福岡市総合図書館(代表)092(852)0600 映像資料課092(852)0608 Fax.092(852)0609

福岡市総合図書館ホームページアドレス <http://toshokan.city.fukuoka.jp/>